

減災に係る主な取組について(H30・R1)

各自治体における主な取組	・ ・ ・ ・ ・	P 2 ～ P 5 3
気象台における主な取組	・ ・ ・ ・ ・	P 5 5
北上川下流河川事務所における主な取組	・ ・ ・ ・ ・	P 5 7 ～ P 6 6

H30年度の各自治体における主な取組み状況 R元年度の各自治体における主な取組み予定

自治体名	内 容	掲載ページ
大衡村	総合防災訓練、重要水防箇所堂々巡視、R元年度の取組内容(予定)	P2~P5
大和町	水防災意識の向上のため『防災気象講演会』開催、地域防災訓練、応急処置訓練、炊き出し訓練、土のう積訓練の実施	P6~P9
松島町	総合型防災マップ及び津波ハザードマップの作成、防災行政無線戸別受信機の無償貸与、その他の取組み、R元年度の取組内容(予定)	P10~P11
美里町	水防演習の実施	P12~P20
涌谷町	町民防災講演会を開催し、防災マップの紹介、重要水防箇所の点検を実施	P21~P24
石巻市	出前講座等の実施、石巻市防災センター運用開始、R元年度の取組内容(予定)	P25~P26
登米市	コミュニティエフエム放送の整備、避難所看板の更新、防災講話の実施、水防訓練の実施、R元年度の取組内容(予定)	P27~P36
栗原市	総合防災訓練の実施、若い世代を対象とした防災教育の実施、R元年度の取組内容(予定)	P37~P39
東松島市	水防訓練、防災行政無線の難聴地域解消、水防工法訓練、R元年度の取組内容(予定)	P40~P43
大崎市	総合防災訓練での水防訓練、マイ・タイムラインの作成	P44~P45
富谷市	総合防災訓練の実施、R元年度の取組内容(予定)	P46~P47
大郷町	重要水防箇所合同巡視、水防訓練実施	P48~P49
色麻町	水害を想定した総合防災訓練の実施	P50~P51
加美町	みちのくALERT2018訓練に参加	P52~P53

大衡村

- ・H30年度の取組
- ・H31年度の取組予定

平成30年度総合防災訓練

元年5月17日



災害対策本部会議



消防団員による堤防の嵩上げ訓練



災害応急措置協力会による
道路啓開訓練



土砂埋没車両からの救出訓練

平成30年度重要水防箇所合同巡視に参加

元年5月17日



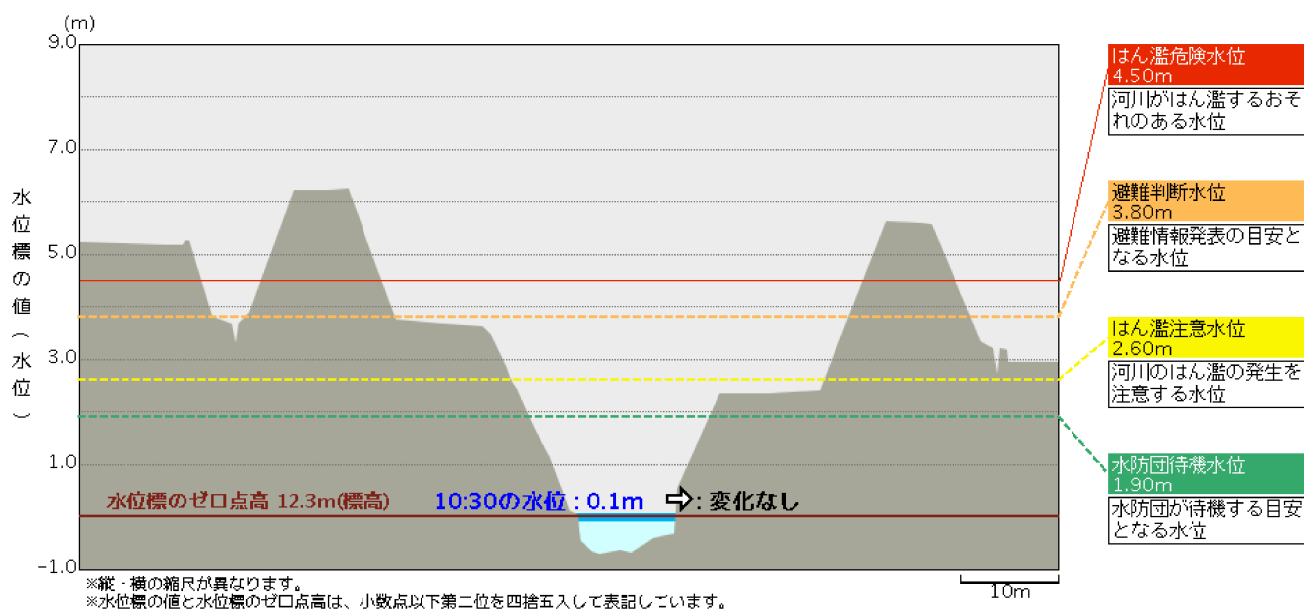
善川右岸2.2km堤防付近 大橋(右岸側)



巡視後の意見交換会(大衡村役場)

善川塩浪水位観測所開設

元年5月17日



国土交通省 川の防災情報からリアルタイムで水位観測可能に

水防資器材(救命胴衣)の整備

30.12



前面



背面

令和元年度取り組み予定

	内 容	時 期	場 所
ソフト対策	地域防災計画の改訂	令和元年5月	
	ハザードマップの改訂	令和元年度末	
ハード対策	村総合防災訓練	令和元年6月23日(日)	村内各行政区地域
	宮城県9.1総合防災訓練	令和元年9月 1日(日)	第二仙台北部中核工業団地 大衡小学校 他
	救助資機材・小型動力ポンプ 搬送車の導入	令和元年12月頃	衡下地区(第8分団)

大和町
・H30年度の取組

◎ 水防災意識の向上のため『防災気象講演会』開催

平成30年12月9日(日)近年増加する大雨災害から身を守ることをテーマとした、防災気象講演会がまほろばホールで開催されました。

講演会では、災害はどこでも起こりうることを念頭に、近年変化する雨の降り方や大雨災害を振り返りながら、自然災害から自分や家族の身を守るための地域、水防災を意識した取り組みが紹介されました。

また、会場内で防災士の活動紹介やプロジェクションマッピングによる栗駒山の地形再現なども行われ、来場者は水災害への意識を高めていました。

○ロビーでの展示物



○会場内ホールの様子



◎地域防災訓練～～被害を最小限に『地域防災力』の向上～～

平成30年10月14日(日)ふれあいの杜で地域防災訓練を実施しました。
今回の防災訓練では、情報伝達訓練、炊き出し訓練、マンホールトイレ設置訓練、土のう積訓練など行われました。
個人や地域、職場で防災意識を高め、地震発生時は自分の身は自分で守る「自助」、地域や近所で互いに協力し助け合う「共助」、国や県・町・消防関係機関などの行政機関による救助・援助する「公助」の3つの力の和が「地域防災力」であり、被害を最小限に抑えるキーワードです。

○マンホールトイレ設置訓練



○応急処置訓練

応急手当普及員の女性消防団員が指導者となり、ラップなどを使用した止血方法や、板やネクタイを使用した固定方法などの応急処置訓練を実施しました。
自主防災組織や各家庭では、災害時に必要な資器材を備え、使い方を知っておくことが大切です。



○炊き出し訓練

炊き出し訓練では、陸上自衛隊大和駐屯地、婦人防火クラブ、ボランティア友の会が協力し、おにぎり、豚汁300食を用意しました。災害時の身体的・精神的な疲労は、炊き出しでの食事などで和らげられ、心にゆとりをもたらします。



○土のう積訓練

消防団による「土のう」造りや積み型を披露し、大事な家屋内への雨水進入を阻止する内容を伝授する。



松島町

- ・H30年度の取組
- ・H31年度の取組予定

【松島町 平成30年度の取り組み】

①「総合型防災マップ」及び観光客向け「津波ハザードマップ」の作成

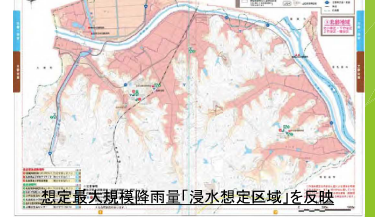
【総合型防災マップ】

⇒津波浸水区域、洪水浸水区域、土砂災害警戒区域に加えて復興事業により整備された避難施設などの最新の内容を反映させた防災マップの作成。

○作成部数8,000部・B4冊子型(28ページ)

平成30年11月1日付、松島町全世帯配布。

※想定最大規模降雨量の「浸水想定区域」を反映、「家屋倒壊等氾濫想定区域」を明記。



②防災行政無線戸別受信機の無償貸与

⇒防災行政無線戸別受信機の無償貸与

防災行政無線の屋外拡声子局の音響エリア外の約500世帯に対して戸別受信機を無償貸与。(H30~H32)



③人材育成事業

⇒宮城県防災指導員フォローアップ研修(地域住民31名)

※宮城県防災指導員を対象に、避難行動用支援者の支援体制づくりについて、DIG(災害図上訓練)などを通して研修を行った。

⇒町職員を防災士として養成(毎年1名)

※防災士は「特定非営利活動法人日本防災士機構」の認証によるもの。



④河川増水等を想定した総合防災訓練の実施

⇒松島町防災の日にあわせ、11月4日に吉田川の増水等を想定し訓練を実施。

【主な訓練内容】

- 避難訓練・避難所開設訓練 ●現地災害対策本部設置・運営訓練 ●水防工法訓練
- 倒壊家屋等救出訓練 ●浸水被害救出訓練 ●倒木撤去訓練 ●排水訓練他

※避難所開設訓練では「避難行動要支援者名簿」を活用し、安否確認(避難誘導)対象者等の確認を行った。



浸水被害救助訓練

【松島町 令和元年度の取り組み】

①松島町地域防災計画見直し

⇒避難勧告等に関するガイドラインの改定や防災重点ため池、ダム of 異常降水時防災操作、高潮対策、避難行動要支援者の支援など、近年の法改正や地域の実情に対応した計画へ見直しを図る。

②「防災」と「福祉」の連携による高齢者の避難行動促進

⇒地域包括支援センターやケアマネージャー等との定期的な意見交換会を実施し、避難勧告等ガイドラインの改定に伴う避難情報等の周知徹底を図るとともに、防災訓練への参加促進など、高齢者の避難行動を促進する。



消防団による水防工法訓練

美里町
・H30年度の取組

平成30年度 遠田二町水防演習

日 時 平成30年6月24日（日）

午後1時 開会

場 所 美里町牛飼水辺公園 江合川右岸河川敷

主 催

美里町・涌谷町・美里町消防団・涌谷町消防団

実 施 要 領

1 趣 旨

本格的な出水時期に備え、美里町消防団及び涌谷町消防団の体制強化及び団員の水防技術向上、さらには広く水防に対する意識高揚を図り、もって地域防災思想の普及啓発を図る。

2 主 催

美里町、涌谷町、美里町消防団、涌谷町消防団

3 共 催

大崎地域広域行政事務組合消防本部

4 協 力

宮城県

国土交通省北上川下流河川事務所

美里町婦人防火クラブ連合会

美里町消防団後援会

5 期 日

平成30年6月24日（日）午後1時 開会

6 会 場

美里町牛飼水辺公園（江合川右岸河川敷）

7 訓練本部

水防本部長 美里町長 相澤清一

水防副本部長 涌谷町長 大橋信夫

水防副本部長 美里町副町長 須田政好

水防団長 美里町消防団長 横地幸勝

総指揮者 美里町消防団副団長 木村常雄

(本部員)

美里町長 相澤清一

美里町消防団長 横地幸勝

涌谷町消防団長 若山紀信

遠田2町消防団本部員

遠田2町防災担当職員

水防演習次第

- | | | | |
|----|--------|---------------------------|-------|
| 1 | 総員集合 | | 13:00 |
| 2 | 開会宣言 | 【水防副本部長】 | |
| 3 | 国旗掲揚 | | |
| 4 | 人員報告 | 【水防団長 → 水防本部長】 | |
| 5 | 告辞 | 【水防本部長】 | |
| 6 | 訓辞 | 【水防団長】 | |
| 7 | 訓練開始 | | |
| | | ① 積み土のう工法（美里町水防団） | |
| | | ② 月の輪工法（美里町水防団） | |
| | | ③ シート張り工法（美里町水防団） | |
| | | ④ 木流し工法（涌谷町水防団） | |
| 8 | 訓練成果点検 | | |
| 9 | 総員集合 | | |
| 10 | 講評 | 【国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所長】 | |
| 11 | 祝辞 | | |
| 12 | 来賓紹介 | | |
| 13 | 国旗降納 | | |
| 14 | 閉会宣言 | 【水防副本部長】 | |
| 15 | 解散 | | 15:30 |

演 習 想 定

- ・午前 1 時 0 0 分 訓練大雨洪水警報発令（仙台管区气象台発表）

昨日、八丈島付近にあった台風 1 0 号は、その後北上、次第に速度を速め、^{いぬぼうさき}犬吠崎の東北東 1 5 Km の海上を進行中、中心気圧 9 6 0 ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は 5 0 m 以上、中心から半径 3 0 0 Km 以内では、風速 2 0 ~ 3 0 m の暴風雨となっています。

この台風の影響で、福島、宮城、岩手の 3 県では豪雨となり、本日午前 1 0 時現在の各地の雨量は、仙台及び大崎で 1 5 0 mm、栗駒 1 8 0 mm でした。

このため、県内の河川は急激に増水していることから、今後の気象情報に十分ご注意ください。

- ・午後 1 時 0 0 分 訓練水防警報 第 1 号（北上川下流河川事務所発表）

江合川大崎市下谷地水位観測所の水位は、午後 0 時 3 0 分現在水防団待機水位 1 . 0 m に達し、なお増水する見込みです。

江合川右岸、美里町遠田橋から小牛田橋まで水防団の出動準備を要請します。

- ・午後 1 時 2 0 分 訓練水防警報 第 2 号（北上川下流河川事務所発表）

江合川大崎市下谷地水位観測所の水位は、午後 1 時 1 0 分現在氾濫注意水位 2 . 4 m を越えており、なお増水する恐れがあるため、美里町遠田橋から小牛田橋まで水防団の出動を要請します。

- ・午後 1 時 3 0 分 訓練本部指令第 1 号

美里町牛飼字御蔵場地内、江合川堤防で越水の恐れがある箇所を発見。水防団の出動を要請します。

- ・午後 1 時 5 0 分 訓練本部指令第 2 号

美里町牛飼字御蔵場地内、江合川堤防で漏水箇所を発見。漏水口拡大の恐れがあるので、水防団の出動を要請します。

- ・午後 2 時 1 0 分 訓練本部指令第 3 号

美里町牛飼字御蔵場地内、江合川堤防に法面崩壊箇所を発見。決壊する恐れがあるので、水防団の出動を要請します。

- ・午後 2 時 3 0 分 訓練本部指令第 4 号

美里町牛飼字御蔵場地内、江合川右岸堤防に洗掘箇所を発見。堤防法面崩壊の恐れがあるので、水防団の出動を要請します。

- ・午後 3 時 2 0 分 訓練大雨洪水警報解除（仙台管区气象台発表）

台風 1 0 号は、その後三陸沖に去り、宮城福島、岩手県下には大雨の恐れがなくなりましたので、大雨洪水警報を解除します。

来賓芳名簿

(順不同)

役 職	芳 名	役 職	芳 名
宮城県知事	村井 嘉浩 様	美里町議会議員	櫻井 功紀 様
衆議院議員	安住 淳 様	美里町議会議員	福田 淑子 様
宮城県議会議員	佐々木 功悦 様	美里町議会議員	千葉 一男 様
北上川下流河川事務所長	高橋 政則 様	涌谷町議会議長	遠藤 稔雄 様
北上川下流河川事務所 大崎出張所長	湊 光一 様	涌谷町議会副議長	鈴木 英雅 様
北上川下流河川事務所 涌谷出張所長	菅原 利幸 様	涌谷町議会議員	竹中 弘光 様
宮城県北部土木事務所長	茂泉 博史 様	涌谷町議会議員	佐々木 敏雄 様
大崎広域消防本部消防長	大久保記一朗 様	涌谷町議会議員	佐々木みさ子 様
遠田消防署長	小山 年秋 様	涌谷町議会議員	稲葉 定 様
遠田警察署長	只野 広隆 様	涌谷町議会議員	大友 啓一 様
美里町議会議長	大橋 昭太郎 様	涌谷町議会議員	只野 順 様
美里町議会副議長	我妻 薫 様	涌谷町議会議員	後藤 洋一 様
美里町議会議員	吉田 眞悦 様	涌谷町議会議員	久 勉 様
美里町議会議員	鈴木 宏通 様	涌谷町議会議員	杉浦 健一 様
美里町議会議員	村松 秀雄 様	涌谷町議会議員	門田 善則 様
美里町議会議員	吉田 二郎 様	涌谷町議会議員	大泉 治 様
美里町議会議員	平吹 俊雄 様	大崎市消防団長	菅原 董悦 様
美里町議会議員	手島 牧世 様	加美町消防団長	佐々木 照義 様
美里町議会議員	佐野 善弘 様	色麻町消防団長	田中 憲昭 様
美里町議会議員	藤田 洋一 様	美里町婦人防火クラブ 連合会会長	佐々木 文子 様
美里町議会議員	山岸 三男 様	涌谷町婦人防火クラブ並びに 交通安全母の会連合会会長	熊谷 かつ江 様
美里町議会議員	柳田 政喜 様	美里町消防団後援会連合会 会長	清和 豊雄 様
美里町議会議員	前原 吉宏 様	涌谷町消防団世話係会会長	菊谷 善一 様







涌谷町
・H30年度の取組

防災講演会を開催 【涌谷町H30年度の取り組み】

○涌谷町町民防災講演会を開催（自主防災組織対象）

- ・近年の自然災害の特徴と地区防災計画と題して、講演会を開催
 その中で、新たに作成した防災マップなども紹介しながら、過去の災害等を解説し、防災意識を高めた



その他

- 北上川下流河川事務所と合同で重要水防箇所の点検を実施
- 例年大崎管内で実施している水防訓練へ参加（美里町牛飼公園）
- 令和元年度より防災無線等難聴地域改善のための防災情報メール配信サービスの導入

頻発する数十年に一度の災害に備えるために 水害を想定した防災訓練を実施

西日本を襲った平成30年7月豪雨のように、近年、数十年に一度の規模の災害が、毎年のように全国のどこかで発生しています。

昔から度重なる水害が発生してきた涌谷町においても、万全に備えるため、7月29日(日)に町内一斉で防災訓練を実施しました。



垂直避難訓練

4区・6区・7区・八雲区の水害時の避難場所となっている涌谷第一小学校。江合川沿いに立地するため、氾濫した場合、垂直方向への避難が必要になります。

各行政区ごとに、30キロの重りを載せた車いすを連携して2階から3階へと持ち運びました。



《実施した訓練とその概要》

防災訓練では、垂直避難訓練の他、次のような訓練を町民の皆さんも参加し実施しました。

①避難所への避難訓練

各行政区ごとに、安否確認を行った後、水害時の避難所となっている涌谷第一小学校へ集団で避難。到着後は、避難者の身元確認のため、一人一人受付を行った。

②遠田消防署からの近年の災害について講演

平成30年7月豪雨をはじめ、平成27年9月関東東北豪雨など、本来数十年に一度という規模の災害が頻発していることを受け、想定外の災害への備えや災害が発生した際に命を守るための適切な対応などについて講演されました。

③ダンボール間仕切り訓練

災害発生時に生活をおくることになる避難所。その避難所において、個人のプライバシーを守ることは、避難生活をおくる上で重要です。避難訓練参加者に、ダンボール素材の間仕切りの組み立てを実際に体験してもらいました。

④炊き出し訓練

災害時にお湯を注ぐだけでお米が炊き上がる製品を使い、参加人数分の炊き出しをしました。

⑤応急処置訓練

出血を伴うケガの止血や骨折箇所の固定といった応急手当、衣類や毛布を使った担架の作り方、タオルと買い物袋を使ったおむつの作り方など、災害が発生し資材が十分ではない緊急時に、身近なものでの対応方法について、参加型での訓練が行われました。



石巻市

- ・H30年度の取組
- ・H31年度の取組予定

登米市

- ・H30年度の取組
- ・H31年度の取組予定

平成30年度登米市 取組状況について

緊急告知ラジオの整備

東日本大震災時に、災害情報の伝達手段として有効に機能した、コミュニティエフエム放送を災害時の情報伝達手段の一つとして活用するため、平成28年度にコミュニティエフエムの中継局を6局（新田、石越、豊里、東和、登米、津山）整備したことにより、可聴エリアが拡大し、**市内全域でコミュニティエフエム放送を聴くことができる**ようになった。

- これによりコミュニティエフエムを活用した防災情報の伝達が可能となったことから、コミュニティエフエムの電波を活用し、自動的に起動する「緊急告知ラジオ」を作製し、全世帯に無償貸与することで、災害時の避難情報やJアラートと連動したミサイル発射情報などの緊急情報を伝達する体制を確立した。
- 指定避難所、公共施設のほか社会福祉施設などの要配慮者利用施設へも配布した。



避難所看板の更新

- 災害種別避難誘導標識システムに基づく災害種別図記号を表示した看板に更新した。
更新 85枚（ほかに新設6か所）



登米市くらしの便利帳の作成

- 株式会社サイネックスとの官民共同事業として、登米市の行政情報、生活情報を一元的にした冊子「登米市くらしの便利帳」に災害に関する情報や避難所一覧などのページを設けた。
- 市内全世帯へ無償配布



防災講話の実施

- 自主防災組織や各種団体などの依頼により水害をテーマとした防災講話を実施した。今後も依頼があれば継続して実施する。

水防演習の実施

- 6月24日に水防訓練を開催し、消防団による水防工法演習を実施した。



平成30年7月豪雨被災地へ職員派遣

- 広島県世羅町へ災害復旧対応のため、平成30年10月から平成31年3月まで（3か月交代で2人）土木技術職員を派遣した。

令和元年度登米市
取組予定について

緊急告知ラジオ難聴世帯の解消

- 受信状況の悪い世帯に対しては、確実に情報伝達できるように外部アンテナを設置するなどの受信状況の改善を行う。（前年から継続）

防災情報伝達手段整備事業

- 防災行政無線に代わる新たな情報伝達手段としてFM波を活用するため、本年度は設計を行う。その後の工事については、令和2年度から令和3年度で行う予定としている。

ハザードマップの更新

- 二股川の浸水想定の新規策定および土砂災害警戒区域等指定箇所の追加に伴い、ハザードマップを更新する。

令和元年度登米市水防訓練

- 水防技術の向上と水防体制の強化図るため、水防訓練（6月23日）を開催し、消防団による水防工法訓練を実施する。
- 市では、水防演習と水防訓練を隔年で実施している。

栗原市

- ・H30年度の取組
- ・H31年度の取組予定

鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の 減災対策協議会(第5回幹事会)

「平成30年度の取組状況」と「平成31年度の取組内容」

平成31年3月20日

栗原市危機対策課

栗原市総合防災訓練の実施

平成20年岩手・宮城内陸地震を教訓に、また、後世に伝えていく目的から、地震が発生した6月14日を「栗原市防災の日」として制定した。毎年6月14日の直近である日曜日に総合防災訓練を実施している。

平成30年度は、6月17日に開催し、国・県、自衛隊、気象台等多数の関係機関や自主防災組織等団体の参加のもと、突然の自然災害にも対応できるよう訓練に取り組んでいただいた。



若い世代を対象とした防災教育の実施

市内の中学校3校及び公立高校1校で地域住民の方も加えた防災教育に取り組んでおり、市と消防本部においても、生徒の防災意識の向上の観点から協力体制を構築している。

防災教育の内容については、土嚢づくり、避難施設の模擬体験、DIG・HUGの図上訓練等幅広く行われた。



平成31年度の取組内容(予定)

- ・栗原市総合防災訓練の実施
- ・水防訓練の実施
- ・市内中学校及び公立高等学校への防災教育への支援
- ・市内自主防災組織への防災講話の実施



- 東松島市
- ・H30年度の取組
 - ・H31年度の取組予定

鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の 減災対策協議会(第5回幹事会)発表資料

東松島市
H31. 3. 20

平成30年度の取組状況

1 水防訓練

- ▷ 平成30年6月3日(日)、鳴瀬川左岸河川敷において「東松島市水防訓練」を実施
- ▷ 訓練実施者は、東松島市水防団70名、石巻広域消防職員18名の合計88名
(参観者は268名) 全体の訓練参加者は356名
- ▷ 基礎講習:①ロープワーク(いぼ結び、かみくし結び、「の」の字結び、ふな結び)、②土のう作成
水防工法訓練:①積み土のう工法、②月の輪工法を実施

2 防災行政無線の難聴地域解消

- ▷ 60MHZ帯域から280MHZへの放送設備更新
- ▷ 280MHZ対応戸別受信機への更新(H30、31年度)

基礎講習の状況



ロープワーク(結び方練習)



土のう 作成

水防工法訓練

積み土のう工法

洪水によって、堤防が沈下した場合や増水する速さが著しく、水が堤防を越える恐れがあるときに用いる水防工法の中で最も基本となる重要な工法



土のう 1段目

土のう 2段目 & あんこ

土のう 3段目 & あんこ



土のう 4段目 & あんこ

杭打ちによる固定

完成

月の輪工法

増水中に堤防の居住側から漏水により水が吹き出し、その漏水口が拡大されるのを土のうを積んで水を溜め、その水圧(河川水位と漏水口の水位差を縮小)で堤防からの漏水を抑える工法



土のう 1段敷設
(小口積み & 長手積み)

土のう 2、3段敷設

土のう4段敷設後、ビニールシート張り



パイプ取り付け

土のう 5段敷設

土のう5段敷設後、杭打ち固定

完成

H31年度の取組内容(予定)

1 洪水ハザード・マップの周知

平成30年度末に作成(納入済み)完了した洪水ハザード・マップを全戸配布するとともに、各自主防災会役員及び地域住民への説明を実施し、避難場所、経路などの周知を図る。

2 要配慮者利用施設に係る避難確保計画

要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成促進(フォローアップ)

3 防災行政無線の難聴地域解消促進

60MHZから280MHZへの戸別受信機の更新
(H31年度は全世帯更新完了)

大崎市
・H30年度の取組

総合防災訓練での水防訓練 【大崎市H30年度の取り組み】

○平成30年6月16日（土）大崎市総合防災訓練において、川に決壊の恐れが生じているとして「積み土のう工法訓練」や、家屋への浸水被害を防ぐための「浸水対策訓練」を実施。
 ○大崎市消防団、自主防災組織および小学校児童により実施。



マイ・タイムラインの説明 【大崎市H30年度の取り組み】

○当市では防災士会みやぎと連携し、自主防災組織の防災訓練等へ講師の派遣を実施しているが、要望があった一部の自主防災組織において、一人ひとりの防災行動計画「マイ・タイムライン」の作成メリットや作成方法などを説明。

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

3日 3日 3日

国 市 住民等

テレビの天気予報を注意。
 ハードマップで避難所を確認!
 非常時出発の準備
 足りない物を用意出し!
 川の水位をインターネットで確認
 避難所へ避難し、
 避難所へ避難完了

マイ・タイムラインの検討の過程…

- 1 リスクを認識できる
 ・自分の家が浸水してしまう
 ・避難所まで遠い など
- 2 逃げるタイミングがわかる
 ・いつ逃げる?
 ・誰と逃げる?
 ・高気圧気圧をよけて逃げるには?
- 3 コミュニケーションの輪が広がる
 ・検討会での意見交換などで、
 知り合いになれる
 ・ご近所とのつながりが強くなる

マイ・タイムラインができると…

- 1 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- 2 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小真川防災対策協議会 防災士会みやぎの協力を目標とします。

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加入、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めています。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る
 ・過去の洪水を知る
 ・地形の特徴を知る
 ・家屋のリスクを知る

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る
 ・洪水時に得られる情報とその読みかき方を知る
 ・タイムラインの考え方を知る
 ・洪水時の自らの行動を想定

ステップ3 マイ・タイムラインの作成
 ・一人ひとりのタイムラインを作成
 ・日暮一人ひとりが自分の行動を記入
 これで、逃げるタイミングがわかって!

モデル地区

今年度は、若宮戸地区、横新田地区をモデル地区として、検討会を進めます。

学識者

- ・筑波大学システム情報科学研究科 川島 教授
- ・筑波大学人文学系人文コミュニケーション学科 坂城 教授
- ・筑波大学システム情報科学研究科 伊藤 教授
- ・筑波大学システム情報科学研究科 白川 准教授

鬼怒川・小真川防災対策協議会 防災士会みやぎの協力を目標とします。

【写真は自主防災組織での防災講話の様子】



- 富谷市
- ・H30年度の取組
 - ・H31年度の取組予定

平成30年度の実施事項

総合防災訓練での気象台の講演及び降雨量計の説明

○平成30年11月11日（日）富谷市総合防災訓練において、仙台管区気象台 気象防災部 防災調査課 佐々木 秀樹 氏を講師として「自然災害に備える」と題して、災害の種類に応じた避難行動の仕方、過去の災害事例・情報の収集手段の紹介などの講演を行った。
また、気象台の防災展示スペースを設け、降雨量計の展示を行い、降雨量計の仕組みを説明していただいた。

防災訓練時の講演



降雨量計の展示



令和元年度の取り組み予定

重要水防箇所合同巡視への参加

○富谷市で実施する合同巡視へ参加する(6月27日予定)

大郷町
・H30年度の取組

【大郷町】重要水防箇所合同巡視（H30.6.27）

【訓練の概要】

1. 開催日時：平成30年6月27日
2. 実施機関：大郷町、大郷町消防団、北上川下流河川事務所
3. 参加人数：約20人
4. 主な内容
 - ・吉田川危険箇所の巡視
 - ・意見交換



吉田川危険箇所の巡視



吉田川危険箇所の巡視



意見交換

【大郷町】水防訓練（H30.10.21）

【訓練の概要】

1. 開催日時：平成30年10月21日
2. 実施機関：大郷町、大郷町消防団
3. 参加人数：約40人
4. 主な内容：水防技術訓練
 - ・土のう造り訓練
 - ・積土のう工法訓練



水防団員整列



土のう造り訓練



積土のう工法訓練

色麻町
・H30年度の取組

水害を想定した総合防災訓練の実施 【H30年度の取り組み】

○大雨洪水、土砂災害等を想定した町総合防災訓練を実施した

～主な内容～

- ・住民避難訓練
- ・積み土のう工法訓練
- ・応急手当訓練

住民避難訓練



避難者受付



応急手当訓練



積み土のう工法訓練



加美町
・H30年度の取組

みちのくALERT T2018 訓練 参加

・平成30年11月9日から11日に実施された「みちのくALERT2018」大規模実働演習に参加しました。

加美町では9日の前段訓練時に情報伝達訓練、10日の後段訓練時には鳴瀬川と田川の合流点付近を想定被災地とし陸上自衛隊 神町駐屯地 第6施設大隊の協力のもと架橋訓練を実施しました。



【加美町 H30年度の取り組み】



H31年度の取組み予定

機関	内 容	掲載ページ
仙台管区气象台	地域防災支援強化【平成31年度の取組み(予定)】	P55

【地域防災支援強化】

近年相次いで発生している風水害等の災害を踏まえ、住民の的確な防災行動に結びつくよう、市町村、県、関係機関等と一体となって、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んで参ります。

具体的には、平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、防災気象情報の解説や地域特有の災害リスク等を共有します。また、協議会と連携して地域の防災力向上に直結する取組を更に進めます。緊急時（悪天等）においては、防災気象情報の切迫感が伝わる解説のほか、ホットライン等により、警戒体制の確立や避難情報発令等判断に関する支援を実施します。

**個々の市町村に対し、地域に密着して、より強力に取組を推進
平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います！**



平 時

- **市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化**
→ 平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、気象などに関する“ワンストップ”での支援を実施します。
- **災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力**
→ 各市町村等が行う訓練にシナリオ作成や訓練用の情報提供などで積極的に協力します。また、ワークショッププログラム等を活用した実践的な勉強会なども一緒にすすめていきます。
- **地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力**
→ 市町村地域防災計画等の修正作業の際は、具体的修正案を示し協力します。
- **日頃からの予報官コメントやメール等による解説**
→ 予想される大雨等の現象を早期に伝えるとともに、大雨等の発生時には气象台の持つ危機感を即時的に伝えることにより市町村の防災対応を支援します。
- **協議会等との日頃からの連携**
→ 減災対策協議会等と積極的に連携し、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んでいきます。

緊 急 時

- **台風等説明会**
→ 台風や発達する低気圧等により顕著な現象が予測された場合は、積極的に開催し予想される進路や影響などを解説します。
- **予報官コメント、ホットライン**
→ 平時に積み重ねた各自治体との関係や共通認識等を十二分に活用し、現象の推移に応じてポイントを絞った解説をします。
・ 社会に大きな影響を与える現象が見込まれる際、その可能性が高くなくとも、予測の困難性・不確実性も含め早い段階からその旨を解説し、危機感を共有します。
・ 利用者の立場に立って气象台の考えがより分かるよう頻りに情報を発出をします。また、顕著現象が発生する前から注目していただきたい情報等や切迫感を伝えます。
- **JETTの派遣**
→ 災害発生・予見時に都道府県または市町村に气象台職員を迅速に派遣し、気象状況を適時に解説します。

H30年度の取組

ソフト対策項目	主な取組項目	内容	掲載ページ
平時に 周知お ける・ 防災住 民教育 ・訓練 に関する 取組	小中 出前学 校講座 等にお ける水 防炎講 習教育 ・の実 施	水防炎に関する講演会(中粕川区防災訓練にて)	P57
		地域の担い手育成企画 石巻工業高等学校との水防工法合同訓練を開催!	P57
		「洪水に備える・江合川の改修について」 涌谷町城山区自治体において出前講座を開催	P58
		あいぽーとフェア'18開催 北上川下流河川事務所:簡易アラート紹介と体験)	P58
		「一級河川鳴瀬川について・洪水に備えるについて」 大崎市松山駅前中区において出前講座を開催	P59
		「一級河川鳴瀬川について・洪水に備えるについて」 東松島市小野地区自主防災組織連絡協議会において出前講座を開催	P59
水よ 防り体 制効果 の強化 に防関 活動の 実施及 び	重要水 防箇所の 合同巡視	合同巡視(河北・北上地区)を実施	P60
		合同巡視(石巻・河南地区)を実施	P60
		合同巡視(涌谷町)を実施	P61
		合同巡視(津山登米・中田東和地区)を実施	P61
		合同巡視(田尻・古川地区)を実施	P62
		合同巡視(富谷市)を実施	P62
		合同巡視(豊里地区・松島町)を実施	P63
		合同巡視(桃生地区)を実施	P63
		合同巡視(鹿島台、松山地区、東松島市、大和町)を実施	P64
		合同巡視(三本木地区)を実施	P64
		合同巡視(大衡村、大郷町)を実施	P65
		合同巡視(美里町)を実施	P65

H30.4.8 防災・床上事業等に関する講演（中粕川区防災訓練）

鳴瀬川等大規模氾濫時の
逃がす・防ぐ・取り戻す
減災対策協議会

- 平成30年4月8日（日）に大郷町の粕川社会教育センター（旧粕川小学校）において中粕川区自主防災組織主催による平成30年防災訓練（中粕川区民及び消防団員約60名参加）が行われ、その中で「吉田川の河川整備計画と上流遊水地事業について」と題し講演を行いました。
- 鳴瀬川水系の概要、関東・東北豪雨の概要、吉田川中流部河道掘削の実施状況、吉田川床上浸水対策特別緊急事業の概要、河川の防災情報などの説明を行い、豪雨災害への備えと国土交通省の取組について理解を深めていただきました。
- 参加者からは、河道掘削など事業の状況や当地区の日頃からの災害への備えなどについて、意見や質問をいただきました。



中粕川区民及び消防団員など（約60名）が参加

■ 講演の内容

1. 鳴瀬川・吉田川流域の特徴
2. 平成27年9月関東・東北豪雨
3. 鳴瀬川水系河川整備計画の変更内容
4. 吉田川中流部河道掘削
5. H29.10.22~10.23台風21号による大雨時の状況
6. 吉田川床上浸水対策特別緊急事業概要
7. 河川情報の提供



～ 北上川下流河川事務所 地域の担い手育成企画 ～

H30.6.8 石巻工業高等学校との水防工法合同訓練を開催！

北上川下流 確実な避難
大規模氾濫時の 被害を防ぐ
減災対策協議会

鳴瀬川等大規模氾濫時の
逃がす・防ぐ・取り戻す
減災対策協議会

- 平成30年6月8日、石巻工業高等学校の校庭において「水防工法合同訓練」を実施しました。地域の担い手育成企画として、石巻工業高等学校40名、石巻市、北上川下流河川事務所の合計70名が参加しました。
- 「北上川下流及び鳴瀬川等の大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、水防活動に関する理解を高め、水防災意識の向上に寄与するとともに、水防活動の自助・共助の重要性について認識することができました。あわせて、当日は「マンガ 水防団の神様」（防災教育資料）も配布しました。
- 参加者からは、「土のうは重くて作るのが大変だ」「水防工法は仲間と協力することが大切だ」などの感想がありました。

【位置図】



▲北上川下流河川事務所 高橋所長の挨拶



▲水防工法の説明



▲高校生による土のう作成の様子



▲積土のう工の全体状況



▲中詰め土を締め固める様子



▲工法指導者によるアドバイス



▲防災教育資料として配布した「マンガ 水防団の神様」

- 平成30年10月18日、涌谷町城山区自治会の皆様に対し「洪水に備える」「江合川の改修について」と題し出前講座を実施し、27名の方々にご参加いただきました。
- 江合川・新江合川の概要・近年の降雨状況や用語の解説・江合川の改修工事等について講演し理解を深めていただきました。
- 質疑応答の時間には参加者から、多くの質問を受けましたので一部紹介いたします。
 Q一級河川と表示してあるのを見かけるが二級や三級もあるのか？
 A河川法で決まっている国土保全上又は国民経済上特に重要な水系を「一級水系」と呼んでいる。国土交通大臣が指定した区間を直轄区間と呼び、北上川下流河川事務所で管理している。
 Q北上川の水位が上がったとき、江合川に逆流する事はないのか？
 A洪水時は、分流堰の水門を閉めるので逆流する事は無い。
 Q砂田前地区などで堤防の嵩上げ工事をしたが、こちらの地区より高くなってこちらから水が超えてこないか？
 A高さはこちらが高くなっている。
 他にも多数の質問を受けました。
- 出席された方からは「江合川の知らなかった事を知ることができた」「洪水の時の対応をしっかりと考えたい」等の感想をいただき、水防災意識の向上をはかることができました。



H30.11.3 あいぽーとフェア'18開催

(北上川下流河川事務所：簡易アラート紹介と体験)



- 平成30年11月3日、岩手県一関市内にある北上川学習交流館にて、国交省、岩手県、一関市消防と合同で、『あいぽーとフェア'18』が開催され、約135名の方々に参加していただきました。
- 今回のイベントは、～みんなで学んで みんなで備える～をテーマに、いつ、どのような規模で発生するかわからない洪水などの災害に対し、「被害の最小化」を目指すために、「風水害を知る」、「自分でできる防災、減災を考える」ことが大切であり、このきっかけづくりを目的として実施しました。
- 北上川下流河川事務所では、「北上川下流部改修の歴史に関するパネル展示」及び「ミニ簡易アラート装置の作成体験」を行い、水害の記録や治水施設の役割等について認識してもらったほか、洪水が発生した時に役立つ簡易アラートの仕組みを理解してもらい、水防災意識の向上に資する取組となりました。



▲ミニ簡易アラートの紹介と作成体験
(北上川下流河川事務所)



▲降雨体験の様子
(岩手河川国道事務所)



▲災害対策車両の展示
(岩手河川国道事務所)



58 ▲パネル展示の様子
(気象庁)



▲はしご車の展示
(一関市消防)

- 平成30年11月11日、大崎市松山駅前中区の皆様に対し地区の防災訓練の一環として北上川下流河川事務所は「一級河川鳴瀬川」「洪水に備える」、大崎市防災安全課よりハザードマップ等の解説ついて出前講座を実施し、約30名の方にご参加いただきました。
- 「一級河川鳴瀬川」では、「一級河川とは？」から説明し「鳴瀬川の概要や改修の歴史」「洪水の歴史」について講演し、鳴瀬川について理解を深めていただきました。また、「洪水に備える」では、気象用語の解説や水位情報の収集方法などを説明し、洪水発生時の事前の準備や心構え等について講演しました。
- 出席された方からは「鳴瀬川の知らなかった事を知ることができた」「洪水の時の対応をしっかりと考えたい」等の感想をいただき、水防災意識の向上をはかることができました。



▲説明を受けている皆様



▲大崎市の担当者はハザードマップや避難情報について説明

講義の内容

■主な講演内容

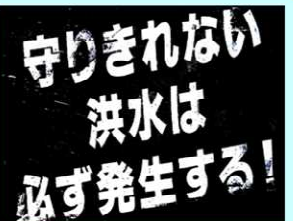
1. 一級河川鳴瀬川
 - ・一級河川とは？
 - ・鳴瀬川の概要と歴史
 - ・鳴瀬川総合開発事業について
2. 洪水に備える
3. 「守りきれない洪水は必ず発生する！」上映

一級河川鳴瀬川について

国土交通省 東北地方整備局
北上川下流河川事務所

洪水に備える

東北地方整備局 北上川下流河川事務所
国土交通省



H3 1.2.7 東松島市小野地区自主防災組織連絡協議会

「一級河川鳴瀬川について・洪水に備えるについて」出前講座開催

- 平成31年2月7日、東松島市小野地区自主防災組織連絡協議会の皆様に対し北上川下流河川事務所は「一級河川鳴瀬川」等について出前講座を実施し、各地区防災担当12名の方々にご参加いただきました。
- 「一級河川鳴瀬川」では、「一級河川とは？」から説明し「鳴瀬川の概要や改修の歴史」「洪水の歴史」について講演し、鳴瀬川について理解を深めていただきました。また、「洪水に備える」では、気象用語の解説や水位情報の収集方法などを説明し、洪水発生時の事前の準備や心構え等について講演しました。
- 出席された方からは「昔から知っている鳴瀬川を別の面を知ることができた」「洪水の時の対応をしっかりと考えたい」等の感想をいただき、水防災意識の向上をはかることができました。



▲説明を受けている皆様



▲質疑応答の時間は多くの質問をいただきました

講義の内容

■主な講演内容

1. 一級河川鳴瀬川
 - ・一級河川とは？
 - ・鳴瀬川の概要と歴史
 - ・鳴瀬川総合開発事業について
2. 洪水に備える

一級河川鳴瀬川について

国土交通省 東北地方整備局
北上川下流河川事務所

洪水に備える

東北地方整備局 北上川下流河川事務所
国土交通省

H30.5.28 平成30年度 合同巡視（河北・北上地区）を実施



- 平成30年5月28日、石巻市河北、北上地区において、水防団、石巻市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鴨瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲北上川右岸7.6k 重要水防箇所の巡視



▲追波川格納庫の巡視



▲河北地区 意見交換会の様子



▲北上川左岸4.0k付近 危険箇所の巡視



▲月浜沢川排水樋門の巡視



▲北上地区 意見交換会の様子

H30.6.5 平成30年度 合同巡視（石巻・河南地区）を実施



- 平成30年6月5日、石巻市石巻、河南地区において、水防団、石巻市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鴨瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲旧北上川左岸0.5k 重要水防箇所の巡視



▲旧北上川右岸1.6k付近 重要水防箇所の巡視



▲石巻地区 意見交換会の様子



▲旧北上川右岸10.2k付近 重要水防箇所の巡視



▲旧北上川右岸15.0k付近 重要水防箇所の巡視



▲河南地区 意見交換会の様子

H30.6.13 平成30年度 合同巡視（涌谷町）を実施

- 平成30年6月13日、涌谷町において、水防団、涌谷町、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲涌谷地区河川防災ステーションの巡視



▲江合川左岸7.4k重要水防箇所の巡視



▲江合川右岸6.6k付近重要水防箇所の巡視



▲涌谷町 意見交換会の様子



H30.6.15 平成30年度 合同巡視（津山登米・中田東和地区）を実施

- 平成30年6月15日、登米市津山、登米、中田、東和地区において、水防団、登米市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲津山町水防倉庫の巡視



▲北上川左岸31.4k「日根牛堤防」重要水防箇所の巡視



▲津山・登米地区 意見交換会の様子



▲北上川右岸48.0k「大泉堤防」重要水防箇所の巡視



▲中田町水防倉庫の巡視



▲中田・東和地区 意見交換会の様子

～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～
H30.6.18 平成30年度 合同巡視（田尻・古川地区）を実施

北上川下流等 大規模氾濫時の 減災対策協議会
 確実な避難 被害を防ぐ
 鳴瀬川等大規模氾濫時の 逃がす・防ぐ・取り戻す 減災対策協議会

- 平成30年6月18日、大崎市田尻、古川地区において、水防団、大崎市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲江合川左岸18.6k重要水防箇所の巡視



▲大崎市田尻総合支所水防倉庫の巡視



▲田尻地区 意見交換会の様子



▲鳴瀬川左岸31.7k付近重要水防箇所の巡視



▲多田川左岸2.9k付近重要水防箇所の巡視



▲古川地区 意見交換会の様子

～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～
H30.6.19 平成30年度 合同巡視（富谷市）を実施

鳴瀬川等大規模氾濫時の 逃がす・防ぐ・取り戻す 減災対策協議会

- 平成30年6月19日、富谷市において、水防団、富谷市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲富谷市巡視前 説明状況



▲竹林川右岸2.6k付近重要水防箇所の巡視



▲竹林川右岸3.0k付近重要水防箇所の巡視



▲富谷市 意見交換会の様子

～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～
H30.6.20 平成30年度 合同巡視（豊里地区・松島町）を実施



- 平成30年6月20日、登米市豊里地区、松島町において、水防団、登米市、松島町、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲旧北上川右岸28.0k重要水防箇所の巡視



▲旧北上川右岸26.0k付近重要水防箇所の巡視



▲豊里地区 意見交換会の様子



▲吉田川右岸10.2k付近重要水防箇所の巡視



▲吉田川右岸12.8k付近重要水防箇所の巡視



▲松島町 意見交換会の様子

～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～
H30.6.21 平成30年度 合同巡視（桃生地区）を実施



- 平成30年6月21日、石巻市桃生地区において、水防団、石巻市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲桃生町巡視前説明状況



▲分流管理棟 桃生町地区説明状況



▲旧北上川左岸23.5k付近重要水防箇所の巡視



▲桃生地区 意見交換会の様子

H30.6.22 平成30年度 合同巡視（鹿島台・松山地区・東松島市・大和町）を実施

- 平成30年6月22日、大崎市鹿島台、松山地区、東松島市、大和町において、水防団、大崎市、東松島市、大和町、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲鳴瀬川右岸11.7k重要水防箇所の巡視



▲吉田川右岸28.1k重要水防箇所の巡視



▲鹿島台地区 意見交換会の様子



▲松山地区 意見交換会の様子



▲東松島市 意見交換会の様子



▲大和町 意見交換会の様子

H30.6.25 平成30年度 合同巡視（三本木地区）を実施

- 平成30年6月25日、大崎市三本木地区において、水防団、大崎市、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「北上川下流等及び鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲三本木地区巡視前 説明状況



▲三本木水防倉庫の巡視



▲鳴瀬川右岸36.0k付近 重要水防箇所の巡視



▲三本木地区 意見交換会の様子

H30.6.27 平成30年度 合同巡視（大衡村・大郷町）を実施

- 平成30年6月27日、大衡村、大郷町において、水防団、大衡村、大郷町、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲大衡村巡視前 説明状況



▲善川左岸2.3k付近 重要水防箇所の巡視



▲大衡村 意見交換会の様子



▲吉田川左岸20.9k 重要水防箇所の巡視



▲吉田川右岸24.0k付近 重要水防箇所の巡視



▲大郷町 意見交換会の様子

H30.6.29 平成30年度 合同巡視（美里町）を実施

- 平成30年6月29日、美里町において、水防団、美里町、宮城県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。



▲江合川右岸20.4k付近 重要水防箇所の巡視



▲宮城県名蹟越流堤の巡視



▲鳴瀬川左岸18.1k付近 重要水防箇所の巡視



▲美里町 意見交換会の様子

令和元年度の主な取組内容（鳴瀬川等・北上川下流等）

【ハード対策】

1. 洪水氾濫を未然に防ぐ対策【鳴瀬川・吉田川・江合川・北上川】
 - 堤防整備・河道掘削・堤防の浸透対策の継続実施
2. 危機管理型ハード対策【鳴瀬川・吉田川】
 - 堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強の継続実施
3. 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
 - 危機管理型水位計の継続設置（水害リスクの高い箇所）（鳴瀬川等・北上川下流等）
 - 簡易カメラの設置（水害リスクの高い箇所）

【ソフト対策】

1. 住民の主体的で安全な避難を促す日頃からのリスクコミュニケーション
〈洪水時〉
 - プッシュ型洪水情報の発信の継続実施（鳴瀬川等・北上川下流等）
〈平時〉
 - タイムラインに基づく訓練（鳴瀬川等・北上川下流等）
 - 小中学校等における水防災教育・出前講座等を活用した講習会等の継続実施（鳴瀬川等・北上川下流等）
2. 発災時に人命を守る水防活動の強化
 - 重要水防箇所の合同巡視の継続実施（鳴瀬川等・北上川下流等）
3. 一日も早く日常を取り戻すための排水活動の強化等の取組
 - 大規模水害緊急排水計画（案）の検討（鳴瀬川等・北上川下流等）
 - 排水ポンプ車を用いた排水訓練の実施（鳴瀬川等・北上川下流等）